

## 【通常の学級における特別支援教育の視点を踏まえた学習指導案】

### 国語科学習指導案

庄原市立東城小学校  
指導者 見田 靖彦

- 1 日 時 平成21年2月3日(火)
- 2 学 年 第6学年2組 22名
- 3 単元名・教材名 表現のしかたを工夫して書こう「感動を言葉に」

#### 4 単元について

##### ○児童観

本学級の児童は、詩作体験において5年までの学習で仮定や比喻などの表現のしかたの工夫を用いた創作活動を経験している。しかしながら、6年生で取り組んだ行事等の思い出を詩や短歌に表す活動では表現のしかたの工夫を十分に意識して書くことができなかった。その原因は、表現のしかたの工夫をすることで書き手の思いが印象的・象徴的に読み手に伝わるといことが実感されていないことが考えられる。

A児は、作文や短歌作りにおいて題材を発想することが苦手であるが、問いかけがあると印象深い出来事について思い出し題材を決めることができる。作文や短歌作りを進める段階では、教師が文例を示したり児童の思いや考えを聞き取って言葉を膨らませたものを文章化して示したりすると、それをヒントに「したこと」や「起こったこと」、「五感で感じたこと」を書き進めることができる。

B児は、座席の位置の調整(教室前方に移動)、視覚的な情報の整理(教室前面掲示の整理、板書の整理)などの支援を行うことで、集中力が持続し、見通しをもって学習ができるようになってきている。

##### ○単元観

学習指導要領において、高学年の「B書くこと」の指導事項(ア)に「目的や意図に応じて、自分の考えを効果的に書くこと」、言語事項ウ(エ)に「語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつこと」とある。

本単元は、比喻や擬態語、擬声語などの効果的な表現のよさを味わい、それらを生かして見たり感じたりしたことを言葉にする力を付けることをねらいとする。

本教材に掲載されている作品は、日常の出来事や身近なものからの発見をもとに、心のつぶやきをそのまま言葉にしたり、見たり感じたりしたことから連想して比喻を用いたりして作られている。児童にとって親しみやすい効果的な表現のしかたの工夫があり、声に出して読むと語感に対する感覚にも関心をもたせることができる。児童が詩作をする際には、これらの表現方法を生かして書いたり、視点を変えて自分なりの発見をもとに書いたりすることができる教材である。

##### ○指導観

指導に当たっては、次の三点に留意する。

一点目は、音読を意識的に取り入れ、語感に対する感覚を使いながら表現のしかたの工夫の良さを味わうことができるようにする。

二点目は、表現のしかたの工夫を隠してから教材文を提示し、題や文脈から隠された部分に入る言葉は何か推測させる。そうすることで効果的に自分の気持ちを表現しようとする作者の意図が表れていることに気付かせる。

三点目は、図画工作科との関連を図り、絵手紙作りの活動を単元末に設定し、多くの人に作品が見られることを想定して相手意識をもちながら詩作に取り組むことができるようにする。

「支援を必要とする児童に焦点を当てた授業づくり」としては、

- 題材メモや構想図の活用で、題材決定のための材料を計画的に集めたり、題材から「したこと」や「起こったこと」、「五感で感じたこと」を樹形図状に膨らませたりすることができるようにする。
- 教科書の表現を参考に、自分の表現に生かすようにさせる。また、ワークシートに比喻や擬声語・擬態語に着目させるヒントを載せ、空欄に入る言葉について考えやすくする。

- 見通しをもって学習を進めることができるようにするために、黒板に学習の流れや、目印となるカード（「今」カード）を貼る。  
「言語技術を生かした学習指導の工夫」としては、
- 詩の題材となっている場面の様子や作者の心情を考える。 (情報を的確に分析する技術)

## 5 単元の目標

- 詩が生まれた背景・表現のしかたの工夫を理解し、詩を書く意欲をもつ。 (国語への関心・意欲・態度)
- ◎ 自分の考えを表現するために、効果的な表現を考えて書く。 (B 書くこと ア)
- 見たり感じたりしたことを、たとえや擬態語、擬声語などを聞いて表現する。 (言語事項 ウ (エ))

## 6 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	言語についての 知識・理解・技能
①教科書の児童詩を読んで、詩の背景を想像し、表現のしかたの工夫をとらえ、自分の生活を振り返って詩を書こうとしている。 ②相互に作品を読み合い、表現のしかたの工夫のよさを味わっている。	①擬声語や対比、繰り返し、比喩、一行空きなどの表現のしかたの工夫をしながら書いている。	①言葉のリズム、語や語句の柔らかさや美しさを考えながら書いている。 ②適切な表現であるかどうかを感じ取っている。

## 7 指導と評価の計画（全4時間）

次	学習内容 (時間)	評価				
		関意	書く	言語	評価規準 ※言語技術の視点	評価方法
一	・「授業研究」「しずく」「草むしり」を鑑賞し、表現のしかたの工夫（擬声語、繰り返し、比喩）についてまとめる。 ・教科書の児童詩の表現のしかたの工夫を生かし、詩を作る。 (1/4) 本時	◎	○		・教科書の児童詩を読んで、詩の背景を想像し、表現のしかたの工夫をとらえている。 ・擬声語や、繰り返し、比喩などの表現のしかたの工夫を生かしながら書いている。 ※情報を的確に分析する技術	発表 ワークシート
二	・「百人一首」「ぼくの硬球」を鑑賞し、表現のしかたの工夫（対比、擬声語、繰り返し、一行空き）についてまとめる。 ・教科書の児童詩の表現のしかたの工夫を生かし、詩を作る。 (2/4)	○	◎		・教科書の児童詩を読んで、詩の背景を想像し、表現のしかたの工夫をとらえている。 ・擬声語や、繰り返し、比喩などの表現のしかたの工夫を生かしながら書いている。 ※情報を的確に分析する技術	発表 ワークシート
三	・題材を決め、構想表を作る。 ・効果的な表現を工夫しながら、詩を書く。 (3/4)		◎		・擬声語や対比、繰り返し、比喩、一行空きなどの表現のしかたの工夫をしながら書いている。	構想表 作品

				○	・言葉のリズム，語や語句の柔らかさや美しさを考えながら書いている。 ※情報を正しく伝える技術	
三	・書き終えた詩を読み直し，表現のしかたの工夫が活かされているかを検討する。 ・グループ内で互いの詩を読み合い，意見や感想を書く。 ・一人一人の作品を聞き合い，アドバイスカードに書き込んで意見や感想を述べ合う。 (4/4)	○		◎	・相互に作品を読み合い，表現の工夫のしかたの良さを味わう。 ・適切な表現であるかどうかを感じ取っている。	アドバイスカード

### 8 本時の展開

(1) 本時の目標

- 詩の情景や表現のしかたの工夫を味わい，児童詩の効果的な表現を生かして詩を書く。

(2) 観点別評価規準

- 児童詩を読んで詩の情景を想像し，比喩や擬声語のよさを取り入れて自分の詩を書いている。

(書く能力)

(3) 準備物

教科書の児童詩のコピー (黒板掲示用) 雫の音の音源 題材メモ ワークシート  
ホワイトボード (学習の流れ)

(4) 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項 ◆支援 (A) ◇支援 (B)	評価規準 【評価方法】
1 学習課題の確認をする。	○机の上は必要なものだけにする。 ○学習の流れをホワイトボードで示し，見通しをもたせる。	④「学習環境」
表現のしかたの工夫を生かして，詩を作ろう。		①「見通し」 ②「視覚」
2 二つの詩を鑑賞し，表現のしかたの工夫を知る。 ・「研究授業」を鑑賞する。 ○□にはどんな言葉が入るだろう。 ・□に入る言葉を考える。	◆作者の立場で気持ちを想像させ，その気持ちにあった動作を一緒にする。	②「視覚」
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;"> <b>ことばの力活用POINT</b>            結論先行で，理由とともにはっきりと述べる。         </div>		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <b>考 表</b> </div>
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">           作者の気持ちを想像しながら□に入る言葉を考え，根拠を明確にしてはっきり表現する。         </div>		
・ペアで交流し，全体の場で発表する。	○自分の意見と友だちの意見の同じところや違うところを明確にして発表させる。	⑤「言語技術」 ⑦「学級集団」

- ・「しずく」を鑑賞する。
- には音を表すどんな言葉が入るだろう。
- ・雫の音を聞いて、□に入る言葉を予想する。
- ・ペアで交流し、全体場で発表する。

3 「草むしり」を鑑賞し、表現のしかたの工夫を生かして、詩を作る。

- この詩にはどんな表現のしかたの工夫があるだろう。また、どんな効果があるだろう。
- ・詩を音読し、繰り返しの効果について考え、ペアで交流し全体場で発表する。

- 「どっさり、どっさり、どっさり、」という言葉には、他にどんな題名が合うだろう。

- ・「どっさり、どっさり、どっさり、」という表現に合う別の題名を考える。
- ・自分で考えた題名に沿って、「どっさり、どっさり、どっさり、」「そして」以外の部分を変えて詩を作る。

- ・ペアで交流して相互評価し、全体場で発表する。

4 学習のまとめをする。

- ・表現のしかたの工夫について振り返る。「今日は～について学習し、～ということが分かりました。自分が使ってみたい表現のしかたの工夫は～です。理由は、～からです。」

ことばの力活用POINT  
話型を使って簡潔に述べる。

◇黒板に「今」カードを貼って注意を促す。

- 「葉っぱに」「水たまりに」落ちる雫の音を聞きかせて児童詩の擬声語との対応を確認させてから、「一気に」「屋根に」落ちる雫の音がどのような擬声語で表わされているかを自由に予想させる。

- 「どっさり、どっさり、どっさり、」の部分強調して読み、繰り返しを意識させる。

- ◆いくつかの選択肢の中から自分の題材に合った表現を選ぶことができるようにする。  
(例 いもほり、お年玉、白菜の収穫)

- ◆「どっさり、どっさり、どっさり、」に続く部分には①述語、「そして」に続く部分には②結果を表す記述が入ることが分かるよう、ワークシートに①「どうした」、②「どうなった」という補助発問を書いておく。

◇黒板に「今」カードを貼って注意を促す。

- 作品が速くできたら、「どっさり、どっさり、どっさり、」の部分も変えて詩を作るよう促す。

- くり返しを使うことでどのような様子が伝わったかを肯定的に評価させる。

- 話型にあてはめて、振り返りをさせる。

③「聴覚」

③「聴覚」

○教科書の児童詩を読んで詩の背景を想像し、表現のしかたの工夫をとらえ自分の詩に取り入れている。  
【ワークシート】

⑥「学習意欲」

②「視覚」

⑦「学級集団」

⑤「言語技術」

9 板書計画

表現のしかたの工夫を考えて書く。

**感動を言葉に**

表現のしかたの工夫を生かして、おももしろい詩を作ろう。

研究授業

昨日、  
研究授業があった。  
みんな口になった。

正田 航

しすく、

しすくがポチャン、

葉っぱにポッポッ、

水たまりに

一気に

屋根に

雨がやんでも、

しすくは落ちる、

まるで雨の子ども、

みたいたな。

安藤 典樹

しすく、

しすくがポチャン、

葉っぱにポッポッ、

水たまりに

一気に

屋根に

雨がやんでも、

しすくは落ちる、

まるで雨の子ども、

みたいたな。

安藤 典樹

研究授業

昨日、  
研究授業があった。  
みんな口になった。

正田 航

表現のしかたの工夫①

(比喩…ある事がある事を説明するために、他のことと例えて表すこと。)

表現のしかたの工夫②

(擬声語…声や音をそのまま、ま真似てつくった言葉。)

表現のしかたの工夫③

へくり返し…効果 強調 驚きが変わる)

まどめ

読み手に効果的に伝えるには、比喩や擬声語、まどめくり返しを使って詩を書く。

学習の流れ

- ① 詩「研究授業」の鑑賞
- ② 詩「しすく」の鑑賞
- ③ 詩「おももしろ」の鑑賞
- ④ おもしろい詩を作ろう

児童への期待される効果

※ 特別支援教育を視点にした授業改善

視点	これまでの実践例	
① 見通しをもたせる	・学習の流れを決め、それに基づいて授業を行う。	・児童が主体的に動けるようになる。
② 視覚的支援	・算数的活動（計算棒・10のケース等）の実施 ・ペーパーサートの活用 ・電子黒板の活用 ・絵や写真の活用 ・教具の工夫 ・構造的な板書 ☆ <b>チョークの色の統一</b>	・分りやすい。
③ 聴覚的支援	・計算の手順を繰り返し唱える ・音読 ・替え歌 ・リズムとテンポと繰り返しを生かした指導 ・不必要な音を取り除く。	・耳からの刺激で理解が一層深まる。 ・聞く環境が整う。
④ 学習環境整備	・学習規律 ・机の上の整理整頓 ・鉛筆の持ち方 ・机の中の整理整頓 ・姿勢 ☆ <b>学習規律の再確認と指導</b>	・学習しやすくなる。
⑤ 「言語技術」の活用	・話型の提示 ・絵の分析 ・根拠の明確化 ・主語と文末 ・ナンバリングの活用 ・情報の分析 ・視点を変える等	・表現しやすい。 ・相手に伝わりやすい。 ・思考の育成に有効。
⑥ 学習意欲の喚起	・個に応じたワークシートの作成 ・教材や教具の工夫 (例：好きなキャラクターを活かす。)	・児童が意欲的に学習できる。
⑦ 学習集団づくり	・ペア学習 ・グループ学習 ・つながり発言 ・考えの交流	・学びの質が高まる。